

2015年 1月20日

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

輸出入許可通知管理システム バージョン 1.02リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「輸出入許可通知管理システム」(Ver.1.01-01→Ver.1.02-01)において、
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

◎以下の OS に対応しました。

- ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard

※Windows Server 2012 の Server Core 機能での動作には対応していません。

◎以下のデータベースに対応しました。

- ・ Oracle Database 11g
- ・ Oracle Database 12c

[出力機能関連]

◎輸出入許可等通知情報の PDF 出力に「imageWARE Form Manager Workgroup Edition for Windows」
が使用できるようになりました。

「imageWARE Form Manager Workgroup Edition for Windows」の Version 8.4 または Version 9.0 が
必要です。

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[出力機能関連]

- ・ D01 輸入許可等通知情報の一部の帳票の PDF 出力結果に以下の誤りがある。

<誤>

最初歳入年月日

<正>

最初歳入年月日

- ・ E01 輸出許可等通知情報の帳票の PDF 出力で、記事（税関）欄の最後の 1 文字が出力されないことがあ
る。

- ・ 「輸入許可通知書（少額関税無税）」の PDF 出力で、延滞税額合計欄の値が右寄せではなく左寄せで出力
される。

[管理機能関連]

- ・ログイン画面の「ログイン」をクリックすると、ユーザ名とパスワードを入力してログインする前に通知照会画面が表示されることがある。
※通知照会画面は表示されますが、画面に対する操作はログイン後でなければできません。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上